


平成 16 年度より学校の定期検査に組み入れられたもので、具体的には保健室の寝具、カーペット敷きの教室等、ダニの発生しやすい場所について検査するとされ、学校環境衛生の基準は「ダニ数は 100 匹/m² 以下、又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。」また、検査時期は「夏季に行なうことが望ましい。」となっている。

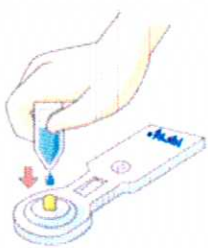
ダニスキャンの使用法

1.




ダニスキャンの「ちり採取器」を取り出し、採取部(黄色いぽちの部分)を下にして、1m×1m ぐらいの面積を**約1分**間ジグザクにこすります。

2.




採取面を上にして平らな場所に置きます。採取部に「現像液」を **5~6 滴**ほど垂らします。

3.



現像液をたらして**約 15 分**待つと、窓の部分に赤い線が現れてきます。この線の状況でダニアレルギー量が把握できます。

判定:ダニアレルギーの汚染レベルを判定します。

 <p>判定1</p>	 <p>判定2</p>	<p>・判定1 (Tなし) → (－) < 10 匹 (< 1 μg/m²) ダニアレルギーによる汚染はありません。</p>
 <p>判定3</p>	 <p>判定4</p>	<p>・判定2 (C>T) → (±) 50 匹 (5 μg/m²) 多少汚染があります。週に1度はきちんと掃除をし、とくに梅雨時などは通気に気をつける。</p> <p>・判定3 (C=T) → (+) 100 匹 (10 μg/m²) ダニアレルギーによる汚染が進んでいます。掃除を徹底的に。ふとんは晴れた日に干して乾燥させる。掃除機をしっかりとかける。</p> <p>・判定4 (C<T) → (++) > 350 匹 (> 35 μg/m²) 非常に汚染されています。丹念な掃除とダニ駆除をする。又は取り替える。</p>